

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	あけぼのミンタラ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月22日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の多くが、系列のこども園の児童であるため、園との連携が取りやすい。	「こんなことができた」など新しい気づきを療育の送迎時に、園の職員と共有し、園での生活でも生かしてもらえるようにしている。	連携が図りやすいメリットを活かし、更なる園との情報共有をすることで園と当事業所の両方が、子どもたちにより良い支援を行っていきけるようにする。
2	専門職を配置している。	職員の個々のスキルを持ち味としながら、専門職の言語聴覚士を配置することで、言語の専門的な療育を行っている。	事業所内研修や外部の研修に参加することで職員のスキルアップを図ることでより良い支援を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりが弱い	こども園との連携が密な分、地域の住民や他事業所との交流が少ない。	地域との関わりでどういことができるかを職員で話し合っていく。
2			
3			